

縣

報

第七號

明治卅三年六月十四日 和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第四十六號

明治三十年十二月 和歌山縣令第八十二號ハ廢止ス

明治三十三年六月五日

和歌山縣知事

小倉久

和歌山縣令第四十六號參照

明治三十年十二月 和歌山縣令第八十二號ハ在郷陸軍軍人及補充兵ニシテ寄留地ヨリ直ニ召集

ニ應セントスル者ノ取扱方ノ件

○和歌山縣令第四十七號

明治三十三年勅令第三百三十三號第九條ニ據リ市町村立小學校教員加俸給與細則左ノ通相定

明治三十三年六月七日

和歌山縣知事

小倉久

市町村立小學校教員加俸給與細則

第一條 小學校正教員准教員ノ勤績年數ハ相互通算ス

第二條 加俸ハ病氣又ハ其他ノ事故ニ依リ欠勤スルモ之ヲ減給セス

第三條 加俸ハ其金額ヲ分チテ左ノ四期トシ毎期ノ初メニ於テ前期間ニ受クヘキ金額ヲ支

給ス

第一期 自四月至六月

第二期 自七月至九月

第三期 自十月至十二月

第四期 自一月至三月

休職退職ヲ命セラレ又ハ其他ノ理由ニ依リ加俸ヲ罷メタルトキハ其際之ヲ支給ス
在職中死亡シタル者ハ其遺族ニ之ヲ支給ス

第四條 加俸ノ支給増額減額ハ總テ發令ノ翌月ヨリ計算ス

加俸ヲ罷メラレタルトキハ年額ヲ月割計算トシ當月分マテノ金額ヲ支給ス

第五條 特別加俸ヲ受クル者ニシテ他ノ學校ニ轉任スルトキハ別ニ辭令ヲ用キスシテ其加俸ヲ失フモノトス

第六條 郡市長ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第三條第六條及第七條ニ該當スルモノアリト認ムルトキハ其事由及關係事項ヲ詳具シ知事ニ申告スヘシ
第七條 加俸ニ關スル辭令書式左ノ如シ

校名 職名

氏名

市町村立小學校教員加俸令第三條ニ依リ本縣市町村立小學校ニ勤務中年功加俸年額圖ヲ支給ス

年 月 日

縣 名
校 名 職 名

氏 名

市町村立小學校教員加俸令第七條ニ依リ肩書ノ學校ニ勤職中特別加俸年額
ヲ支給ス

年 月 日
縣 名
校 名 職 名

氏 名

市町村立小學校教員加俸令第六條ニ依リ年功加俸ヲ支給セス

年 月 日
縣 名

○和歌山縣令第四十八號

郡視學學事觀察規程左ノ通相定ム

明治三十三年六月九日

和歌山縣知事 小 倉 久

第一條 郡視學ノ觀察スヘキ事項ノ要目左ノ如ク

一、教育ニ關スル勸語ノ主旨ノ實際ニ行ハル、情況

二、學事法令施行ノ情況

三、教授及管理ノ方法

四、學教ノ編制教員ノ配置學科課程及試驗ニ關スル事項

五、學齡兒童ノ就學及出席ノ情況

六、生徒ノ成績及風儀ニ關スル事項

七、學校衛生ノ情況

八、校地校舍圖書器械表簿等ノ設備ニ關スル事項

九、學事ニ關スル會計及經濟ノ情況

十、學事關係職員職務ノ情況

十一、教育學藝ニ關スル諸施設ノ情況

十二、其他特ニ必要ト認ムル事項

第二條 郡視學ハ左ノ事項ニ關シ當事者ニ指示スルコトヲ得

一、法令ノ明文ニ抵觸スル事項

二、授業法及學校管理法ニ關スル事項

三、其他特ニ郡長ノ指命ヲ受ケタル事項

第三條 郡視學ハ學校及町村役場ノ帳簿ヲ查閱スルコトヲ得

第四條 郡視學ハ學校視察ノ際授業時間ヲ變更セシメ時間外ニ授業ヲ爲サシメ又ハ授業ヲ

休止セシムルコトヲ得

第五條 郡視學ハ生徒ノ學業ヲ試驗スルコトヲ得

第六條 郡視學ハ視察ノ際當事者ノ參席ヲ求ムルコトヲ得

第七條 郡視學ハ當事者ニ對シ説明ヲ求ムルコトヲ得

第八條 郡視學ハ視察ノ情況ヲ具シ意見ヲ付シテ郡長ニ復命スヘシ

○和歌山縣令第四十九號

明治三十年四月和歌山縣令第四十五號當縣第一中學校規則第十五條左ノ通改正ス

明治三十三年六月九日

和歌山縣知事 小倉久

第十五條 授業料ハ一人一ヶ月金壹圓貳分ニアル舊和歌山藩士族ノ生徒ハ一人一ヶ月

金參拾錢トシ毎月二十日迄ニ納付セシム

但夏期休業及其他學校ノ都合ニヨリ前一ヶ月間授業ヲナサ、ル月ニ於テハ授業料ヲ徵

收セス

○告示

○和歌山縣告示第三百三十五號

客月二十一日兵庫縣突粟郡山崎村ニ於テ牡牛一頭炭疽ニ罹リ全二十二日斃死全日全一頭炭

疽ニ罹リ即日斃死セシ旨通知アリタリ

明治三十三年六月五日

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣告示第三百三十六號

當縣々會議員選舉投票用紙左ノ通定ム

明治三十三年六月五日

和歌山縣知事 小倉久

明治三十三年六月十四日

用紙西ノ内十二切

投票用紙式

縣會	議員	選舉	投票	用紙
氏				
名				

(何郡役所印)

一増員又ハ補缺選舉ノ投票用紙ニハ議員ノ次ニ増員又ハ補缺ノ二字ヲ加フ

一郡役所印ハ投票用紙欄外適宜ノ所ニ押捺スヘシ

○和歌山縣告示第百三十七號

明治三十三年度和歌山縣歳入歳出追加豫算府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣參事會ノ議決

ヲ經左ノ通定ム

明治三十三年六月七日

和歌山縣知事

小

倉

久

明治三十三年度和歌山縣歳入歳出追加豫算

歳入

經常部

第一款 地 租 割

金八千參百七拾五圓貳拾參錢八厘

但郡市收入

第一項 地 租 割

金八千參百七拾五圓貳拾參錢八厘

但地租豫算金四拾七万八千五百八拾五圓

地租壹圓ニ付金壹錢七厘五毛

經常部合計金八千參百七拾五圓貳拾參錢八厘

臨時部

第一款 繰 越 金

金四百五拾參圓七拾五錢

但郡市收入

第一項 前年度繰越金

金四百五拾參圓七拾五錢

但郡市收入

第二款 國庫補助金

金千六百五拾八圓貳拾貳錢八厘

但郡市收入

第二項 傳染病豫防費補助金

金千六百五拾八圓貳拾貳錢八厘

但郡市收入

臨時部合計金貳千百拾壹圓九拾七錢八厘

歳入總計金壹万四百八拾七圓貳拾壹錢六厘

一此歳入中地租割ハ本年十月一日現在ニ依リ本年度後半期分ト同時ニ賦課徴收スルモノト

歳出

經常部

第六款 衛生及病院費

金九千九百四拾九圓參拾七錢

第一項 衛生諸費

金九千九百四拾九圓參拾七錢

經常部合計金九千九百四拾九圓參拾七錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費

金四百五拾參圓七拾五錢

第一項 建築費

金四百五拾參圓七拾五錢

臨時部合計金四百五拾參圓七拾五錢

歳出總計金壹萬四百參圓拾貳錢

○和歌山縣、示第百三十八號

明治三十三年度市町村立小學校教員加俸資金歳入歳出豫算明治三十三年三月勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令ニ基キ特別會計トシテ府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣參事會ノ議決ヲ經左ノ通定ム

明治三十三年六月七日

和歌山縣知事

小倉

久

明治三十三年度市町村立小學校教員加俸資金歳入歳出豫算

歳入

第一款 市町村立小學校教員加俸資金 金壹万四千七百七拾圓拾九錢四厘

第一項 小學校教員加俸資金國庫下渡金 金壹万四千六百四拾四圓拾九錢四厘

第二項 小學校教員加俸資金利子 金百貳拾六圓

歲出

第一款 市町村立小學校教員加俸資金 金壹万四千七百七拾圓拾九錢四厘

第一項 小學校教員年功加俸金 金壹万參千百七拾九圓

第二項 小學校教員特別加俸金 金千五百九拾壹圓拾九錢四厘

○訓令

○和歌山縣訓令甲第六十二號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

明治三十二年七月當縣訓令甲第三號縣會議員選舉取扱細則補則左ノ通定ム

但明治三十二年八月當縣訓令甲第二十四號ハ廢止ス

明治三十三年六月二日

和歌山縣知事 小倉久

縣會議員選舉取扱細則補則

第一條 府縣制第十五條ニ依リ市町村長ニ於テ投票所ノ場所ヲ告示シタルトキハ町村長ハ

投票

投票

同時ニ郡長ニ報告シ郡長ハ知事ニ報告スヘシ但市ニ在リテハ直ニ知事ニ報告スヘシノ

第二條 府縣制第二十三條ニ依リ選舉會ノ場所ヲ告示シタルキハ同時ニ知事ニ報告スヘシ

第三條 投票用紙及選舉簿用紙ハ郡市長ニ於テ所要ノ員數ヲ調査シ當廳ヘ請求スヘシ

第四條 前條ニ依リ投票用紙及選舉簿用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ郡長ハ各投票所所要ノ

員數ニ應ジ直ニ之ヲ各管理ノ町村長ニ配付スヘシ

第五條 町村長ニ於テ投票ヲ終リタルトキハ投票用紙投票簿用紙使用ノ員數ヲ記シ其殘餘

ハ郡長ニ返納スヘシ

郡長市長ハ投票用紙投票簿用紙ノ殘餘ハ次ノ選舉會マテ之レヲ保管シ其員數ハ當廳ヘ報

告スヘシ

第六條 入場券、到着番號札ハ市町村ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第七條 入場券ハ投票期日ノ前日マデニ之レヲ各選舉人ニ配付スヘシ

○和歌山縣訓令甲第六十三號

縣	監	同	警	郡	廳
立	獄	分	察	役	中
學	支		署		一
校	署		署	所	般

和歌山縣出納史現金取扱規程別紙ノ通相定ム

明治三十三年六月五日

和歌山縣知事 小倉 久

(別紙)

和歌山縣出納史現金取扱規程

第一條 出納吏ノ取扱ニ屬スル現金ノ種類左ノ如シ

一 現金前渡ヲ受ケタル經費

二 工事受負等ノ契約保証金

三 縣稅外ノ收入ニシテ縣經濟ニ屬スル現金

本條中現金前渡ニ係ル經費ノ外ハ雜部金ト總稱ス

第二條 出納吏前條ニ定メタル現金ヲ受ケタルトキハ書式第一號ニ據リ領收證ヲ發スヘシ

第三條 出納吏ノ氏名ハ縣廳ヨリ之ヲ縣金庫ニ通知スヘシ其異動ノアルトキ亦同シ

第四條 縣金庫所在地ノ出納吏ニ於テ取扱フ所ノ現金ハ保管ノ爲書式第二號ノ送付書ヲ添

ヘ其地ノ金庫ニ委託スヘシ

縣 立 病 院
縣 立 測 候 所
市 役 所
出 納 吏
縣 金 庫

本條ニ據リ保管委託ヲ爲シタルトキハ其資格氏名ヲ記シタル印鑑ヲ縣金庫ニ送付スヘシ
第五條 縣金庫ニ於テ前條ノ現金ヲ受ケタルトキハ第三號書式ニ依リ保管證書ヲ製シテ

出納吏ニ交付スヘシ

第六條 出納吏保管金ノ仕拂ヲ縣金庫ニ請求スルトキハ引出切符ヲ用ユヘシ其様式ハ縣會
計事務規程書式中第七十四號ヲ準用ス

第七條 出納吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請求スヘキモノハ拂込ノ
時特ニ之ヲ縣金庫ニ求ムヘシ其請求ナキモノハ總テ有合ノ通貨ヲ以テ仕拂フモノトス

第八條 出納吏其委託シタル保管金ヲ以テ收入又ハ返納ノ爲メ縣金庫ニ拂込ヲ爲セントス
ルトキハ引出切符ヲ用ユヘシ

第九條 出納吏ニ於テ支拂ヲ執行スルノ手續ハ縣會計事務規程第四章ヲ準用ス

第十條 現金ヲ携帯シテ旅行スル出納吏及常時現金ヲ保管スル出納吏ハ自己ノ責任ヲ以テ
相當保護スヘシ

第十一條 出納吏ノ保管ニ係ル現金ハ私有金ト混スルコトヲ得ス

第十二條 出納吏ニ於テ取扱フ一切ノ現金ハ書式第四號ニ據リ現金出納簿ヲ備ヘ整理スヘ
シ

第十三條 縣金庫ニ屬スルハ書式第五號ニ據リ保管金出納簿ヲ設ケ整理スヘシ

第十四條 現金前渡ヲ交ケタル經費ハ出納吏ニ於テ其仕拂ヲ證明スルカ爲メ毎月仕拂計算書
ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ翌月十五日以内知事ニ提出スヘシ

本條ニヨリ提出スル仕拂計算書及証憑書類其他整理ノ順序ハ總テ縣會計事務規程第六章ニ準據スヘシ

第十五條 雜部金ノ出納證明ハ毎年一回第六號書式ニ據リ出納計算書ヲ調製シ証憑書類ヲ添ヘ年度經過後十五日以内知事ニ提出スヘシ但証憑書類ハ調査ノ上當該出納吏ニ還附スヘシ

第十六條 縣金庫ニ於テハ現金前渡ニ屬スル分ハ毎月書式第七號ニ依リ翌月十五日以内雜部金ハ書式第八號ニ依リ毎年一回年度經過後十五日以内何レモ計算書ヲ製シ知事ニ報告スヘシ

第十七條 出納吏交替シタルトキハ其保管スル現金出納簿ヲ縮切リ合計ヲ付シ第十四條第十五條ノ期限ニ拘ハラス前任出納吏ニ於テ其取扱フタル日迄ノ計算書及証憑書類ヲ提出スヘシ

帳簿上ノ殘高及出納吏ノ保管スヘキ証憑書類ハ目錄ヲ製シ後任出納吏ニ引繼クヘシ後任出納吏ニ於テハ保管殘高ハ金庫ニ就キ照査スルモノトス

第十八條 縣金庫ニ於テ第三條ニ據リ出納吏交替ノ通知ヲ受ケタルトキハ保管金出納簿ヲ縮切リ合計ヲ付シ第十六條ノ期限ニ拘ハラス計算書ヲ調製シ知事ニ報告シ帳簿上ノ保管高及案内引出切符受領高等ノ各合計額ヲ前任出納吏ヨリ引繼トシテ後任出納吏ノ口坐ニ移載スヘシ

第十九條 出納吏保管ニ屬スル現金及帳簿ハ明治三十三年三月内務省令第七號第十七條ニ

據之ヲ檢査セシムヘシ其檢査ノ手續ハ縣會計事務規程第十一章ニ據ルヘシ

附 則

第二十條 現金前渡ノ内報災救助基金ノ受拂ノ手續ハ明治三十二年九月訓令甲第四十五號

災救助基金仕拂規程ニ據ル

第二十一條 警察部、警察署ノ常備金及警察分署ノ經費受拂ノ手續ハ營分從前ノ例ニ據ル

第一號 書式

(用紙西洋紙寸法適宜)

原 符

番	號	現金ノ送付ヲ受ケタル官廳名又ハ官名等
一金何圓也	何々金	
年月日	領收	領收
	領收証ニ記入ノ日ト同シ	領收
	出納	出納

(備考) 何々金トアルハ歳出科目モアラサルモノハ其事項ヲ記入スヘシ

番 號

出納
吏印

一 金 何 圓 也

何 々 金

証 右 領 收 候 也

年 月 日

何 廳

出 納 吏 官 氏 名 印

宛

第二號 書式

送 付 書

(備 考)

出 納 吏 檢 印

一 金 何 圓 也

但 何 々 金

何々金トアルハ其科目ヲ云フ
縣金庫ニ於テハ記入ノ科目ニ依リ
帳簿ニ登記スルヲ以テ現金前渡ニ
係ルモノト雜部ニ屬スルモノトハ
判明ニ區分記載ヲ要ス

縣報第七號

明治三十三年六月十四日

十五

明治三十三年六月十四日

右保管ノ爲及送付候也

年 月 日

何 廳

出納吏官氏

名 印

縣金庫何支金庫宛

第三號 書式

(用紙西洋紙寸法適宜)

第 何 號	委 托 先	何 廳 出 納 吏 官 氏 名
-------	-------	-----------------

原

縣金庫取扱主任印

一金何圓也

符

年 月 日

(保管証ニ記入ノ日ト同シ)

保 管 証 書 保 管 証 書 面

第 何 號

縣 金 庫

割 印

縣 金 庫 取 扱 主 任 印

一 金 何 圓 也

右 保 管 候 也

年 月 日

縣 金 庫 何 支 金 庫 印

何 應 出 納 吏 官 氏 名 宛

本 証 書 ハ 保 管 領 收 ノ 証 ナ ル チ 以 テ 之 レ ト 引 換 コ 現 金 テ 交 付 ス ヘ キ
モ ノ ニ ア ラ ス 其 現 金 ノ 交 付 チ 要 ス ル ト キ ハ 委 托 者 ヨ リ 引 出 切 符 チ
發 セ ラ ル ヘ キ モ ノ ト ス

年 月 日	
明 治	年
月	日
同	同
同	同

(備考)

現金ノ口坐ハ其取扱フ總テノ現金ヲ總括ス以下取扱フ種類即チ保証金又ハ經費ノ現金前渡ヲ受ケタル類毎ニ口坐ヲ區別記入ス
 金庫ニ保管ヲ委托スル場合ト雖モ現金ノ口坐ハ拂ニ記入セザルモノトス
 出納吏交替ノトキハ一旦帳簿ヲ締切り合計ヲ付スヘシ各科目ノ口坐ニ記入スル摘要ハ其受入及拂ノ分トモ一廉毎ニ事由詳細記入明瞭ナラシムベシ
 本書式ノ記入方ハ現金ノ口坐ノ例トス

第五號 書式

(用紙美濃紙)

名 管 現 未	換 高
	引 高
金 濟	四

何 廳 出 納 吏 官 氏

摘 要	保 管 高		案 內 引 出		現 金 引 換		現 保 管	
	千	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

縣 報 第 七 號

明 治 三 十 三 年 六 月 十 四 日

年 月 日	
明治	年

(備考)

本書式ハ某出納吏一人ノ取扱金ノ總括トス内譯雜部ノ分ト現金前渡シテ受ケタル分トノ區分ハ出納吏ヨリ送付スル送付書ニ詳記スルヲ以テ各其口坐ニ記入スヘシ

内譯ノ部ハ其取扱フ出納吏官氏名及科目ヲ掲クルノ外本書式ト異ナルナシ總括ハ案内引出切符受領高、現金引換濟高、内譯各科目ノ一日分ノ合計金額ヲ記入スヘシ

摘要ノ欄内ハ何レモ切符ノ枚數等ヲ記入スヘシ

現保官高ノ内保管高トアルハ案内引出切符ヲ受ケサル高チ云フ

現金引換未濟高トアルハ案内引出切符受領高ノ内ヨリ現金引換濟高ヲ引去

リタル高チ云フ

出納吏ノ異ナル毎ニ其口坐ヲ區分記載ス

報告ニ便ナル爲毎月月計ヲ付スヘシ但出納ノ僅少ナル分ハ計ヲ設クルニ及ハス

第六號 書式

明治何年度雜部金出納計算書
(出納吏交替ノ場合ハ前任者自己取扱ヲ爲ナシタル日迄ノ現在ヲ此例ニヨリ報告スヘシ)
 一金何千何百圓也
 總受入高

內譯

金何百圓

前年度ヨリ越高(又ハ前任出納吏ヨリ引繼受高)

內金

何々金

金

何々金

以下自己ノ取扱フタル分又ハ年度首ノ分ヨリ科目ニ從ヒ記載

一金何千何百圓也

總仕拂高

內譯(科目別等ニ記入方ハ前ニ做フ)

一金何千何百圓也

殘

高

(但年度末三月三十一日ノ現保管高ヲ云フ)

明治何年度雜部金出納計算書面ノ通相違無之候也

年 月 日

何

知事宛

出納吏官氏名印

第七號

書式

(用紙幣沙引美濃紙)

高計	現金引換			合計	高計	現金引換		
	本月	分	前月迄			未濟	高	
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
000	50000	0	10000	60000	0			
000	50000	0	10000	60000	0			
000	100000	0	20300	120000				
				100000				
				220000				
相違無之候也								

縣報第七號

明治三十三年六月十四日

廿三

明治 年 度
 年 月 中
 保管金ノ内 現金前渡金受拂計算書

管 高			案内引出切符受領										
前月迄累計合			本月分			前月迄累計合							
圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘					
0	10	00	0	110	00	0	50	00	0	10	00	0	60
0	10	00	0	110	00	0	50	00	0	10	00	0	60
0	20	00	0	220	00	0	100	00	0	20	00	0	120

明治何年度何年何月中受拂計算書面ノ通
 年 月 日
 縣金庫何支金庫
 取扱人氏名印
 知 事 宛

縣報第七號

明治三十三年六月十四日

廿四

所屬廳名及出納吏名	科 目	保	
		本 月 分	前 月 分
何 廳			
出納吏官氏名扱	何 々	100	00
ク	何 々	100	00
	計	200	00
	保管残高		
	計		

(備考)

月内ニテ出納吏交替アリタル時ハ前任者ノ分ハ直ニ此例ニヨリ報告シ後任者ノ分ハ翌月十五日迄ニ提出スヘシ
 翌月分計算書ヨリ前任出納吏取扱ノ分ヲ併算シ掲載スヘシ

第八號 書式

(用紙第七號書式ニ同シ)

明治何年度中雜部金受拂計算書

高	案內引出 切符受額高	現金引 換濟高	現 保		管 高	現 金 引 未 濟 高	高 換 高
			保 管 高	管 高			
000	10000	10000	90000	0	0		
000	10000	10000	0	0	0		
000	20000	20000	90000	0	0		
<p>明治何年度中雜部金受拂計算 書面之通相違無之候也</p> <p>年 月 日</p> <p>縣金庫何支金庫 /</p> <p>取扱人氏名印</p> <p>知 事 宛</p>							

○和歌山縣訓令甲第六十四號

摘要	保管
何廳出納吏官氏名扱ノ分	
何々金	100
何々金	10
計	110

明治三十三年度和歌山縣歳入歳出追加豫算及今年度市町村立小學校教員加俸資金歳入歳出豫算内譯左ノ通定

明治三十三年六月七日

和歌山縣知事 小倉久

内務省 警察部
 市郡警務 役役察務
 所所部部

明治三十三年度和歌山縣歲入歲出追加豫算內譯

歲入

經常部

科

目

追加豫算高

備

考

第一款 地租制

八、三七五、二八 郡市收入

郡市別ハ別表ノ通

第一項 地租制

八、三七五、二八

第一目 地租制

八、三七五、二八 此地租豫算金四拾七萬八千五百八拾五圓
地租一圓ニ付金壹錢七厘五毛

經常部 合計

八、三七五、二八

臨時部

第一款 繰越金

四、五、七〇 郡市收入

科	目	追加豫算高	備	考	第一項	前年度 繰越金	第二項	傳染病 豫防費 補助金	第二項	衛生費ノ内 第一項傳染病豫防 費補助	臨時部	合計	歳入	總計
					第二目	繰越税	第二款	國庫補助金	第一目	衛生費ノ内 第一項傳染病豫防 費補助	合計	合計	合計	合計
					四三、七〇	三十二年度警察署建築費寄附金ノ内	一、六五八、三八	郡市收入	一、六五八、三八	一、六五八、三八	二、二一、九八	二、二一、九八	一〇、四八七、二六	一〇、四八七、二六

縣報第七號

明治三十三年六月十四日

廿九

明治三十三年六月十四日

臨時部合計	第五目	和歌山警察署建築費	四五、七五〇	
	第一項	建築費	四五、七五〇	
臨時部	第一項	警察廳舍建築費	四五、七五〇	
	經常部合計		九、九四九、三七〇	檢疫費六千參百貳拾圓八拾壹錢 消毒所費參千六百貳拾八圓五拾六錢
臨時部合計			四三、七五〇	
臨時部合計			四三、七五〇	

歳出總計

10,401,110

明治三十三年度縣歲入地租割郡市別内譯表

郡市別	地租割	郡市收入
和歌山市	1,421,351.92	3,011,838.55
海草郡	963,795.99	1,051,399.05
那賀郡	994,105.13	1,394.05
伊都郡	562,170.57	577,788.35
那有田郡	577,788.35	8,375.23
高郡		
西牟婁郡		
東牟婁郡		
計		

明治三十三年度市町村立小學校教員加俸資金歲入歲出豫算内譯

科	目	本年度豫算高	備考
第一款	市町村立小學校教員加俸資金	14,770,194	
第一項	小學校教員加俸資金	14,644,194	
	庫下渡金		

明治三十三年六月十四日

		第二項 小學校教員特別加俸金		第一項 小學校教員年功加俸金		第一項 市町村立小學校教員加俸資金		歲出		第二項 小學校教員加俸資金利子		第一項 國庫下渡金	
第一目 特別加俸金		第一目 年功加俸金		第一目 年功加俸金		第一目 年功加俸金		第一目 特別加俸金		第一目 資金利子		第一目 國庫下渡金	
一、五九一、一九四		一、五九一、一九四		一、五九一、一九四		一、五九一、一九四		一、五九一、一九四		一、五九一、一九四		一、五九一、一九四	
正教員五百二十六人分		正教員五百二十六人分		正教員五百二十六人分		正教員五百二十六人分		正教員五百二十六人分		概算利子		明治三十三年度下渡金	
正教員百五十六人分													

○和歌山縣訓令甲第六十五號

郡 警 同 市 町
 役 察 分 役 村
 所 署 署 所 役 場

靜岡縣下ニ於テベスト豫防ノ爲メ六月一日縣令第五十四號ヲ以テ濱松市ヨリ濫獲古綿古着類古紙類古革皮類古羽毛類古麻袋類古敷物類ノ他へ輸送ヲ停止シ犯ス者ハ十圓以下ノ罰金ニ處シ適當ノ消毒方法ヲ經タルモノ并ニ他ヨリ輸入シ其包装ヲ解カサルモノニ就テハ證明書又ハ承認書ヲ與ヘ物件ノ外部ニ貼付セシムル旨通知アリタルニ依リ該地ヨリ縣下ニ古物品輸入シ來リタルトキハ證明書又ハ承認書ノ有無ヲ取調若シ證明書承認書アラサレハ現在ノ場所ヨリ他ニ移サス適法ノ消毒方法ヲ施行シ豫防上注意スヘシ

明治三十三年六月九日

和歌山縣知事 小倉 久

縣報第七號

明治三十三年六月十四日

第四終

明治三十三年六月十三日印刷
明治三十三年六月十四日發行

「登月代價金」
「一册五毛」

和歌山縣

印刷

和歌山市丸番丁九番地
前川初之助
和歌山市丸番丁十三番地